

新連載

リレー随想　日々感懷

このコラムでは、当財団の理事・監事、評議員、選考委員の方々より、日常の業務や生活の中で、心に留まったヘルスリサーチ関連のお話を、毎号リレーで寄稿していただきます。まず第1回の今回は、当財団理事長です。

新オフィスにて

理事長　垣東　徹

6月のある週末、当財団は長年住み慣れた新宿三井ビルから、新宿文化クイントビルへと事務所を移転しました。徒歩で10分足らずの場所への“短距離移転”とは言え、窗外に見える景色はもの珍しく、新しいレイアウトのオフィスは新鮮で、梅雨模様の空にもかかわらず、なぜか心が浮き立ちます。これは平成4年3月の財団設立以来初めてのオフィス移転でした。

思い返せば発足当初4,580万円だった財団の助成金額も、本年度には1億9,000万円(予定)と4倍になり、些かなりともわが国のヘルスリサーチの発展のために貢献してきたと自負しています。よくぞ順調に成長してきたものと、密かに誇らしい気持ちを抱いています。誕生後11年間と言えば人間ならば幼年～少年期の頃。この時期に財団が期待される道を誤ることなく育ってこられたのも、ひとえに“親”とも言える理事・監事・評議員の役員や選考委員、主務官庁など関係先の皆さまがしっかりと見守り、暖かいご支援と真摯なご指導を与え続けてくださったお陰であり、感謝の気持ちで一杯です。

その恩を返すためにも、これから迎える財団の青年期、さあどんな熱い活動をしていくかと、今、心を弾ませる毎日です。



次回は選考委員の厚生労働省大臣官房厚生科学課(主務官庁)課長 中谷 比呂樹 先生にお願いいたします。